

# 令和2年7月期（令和1年6月24日～令和2年7月8日）決算短信

令和2年8月20日

ファンド名 One ETF 南方 中国A株 CSI500 上場取引所 東証  
 コード番号 2553  
 連動対象指標 CSI スモールキャップ 500 指数  
 主要投資資産 投資信託証券  
 売買単位 10口  
 管理会社 アセットマネジメントOne株式会社 URL <http://www.am-one.co.jp/>  
 代表者名 取締役社長 菅野 暁  
 問合せ先責任者 商品開発グループ長 酒井 隆 TEL (03)-6774-5100

有価証券報告書提出予定日 令和2年10月7日  
 分配金支払開始日 -

## ファンドの運用状況

### 1. 令和2年7月期の運用状況(令和1年6月24日～令和2年7月8日)

#### (1) 資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
令和2年7月期	百万円 652	% (99.9)	百万円 0	% (0.1)	百万円 653	% (100.0)

#### (2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数( )	設定口数( )	解約口数( )	当計算期間末 発行済口数 ( + - )
令和2年7月期	千口 0	千口 510	千口 0	千口 510

#### (3) 基準価額

	総資産 ( )	負債 ( )	純資産 ( ( - ) )	1口当たり基準価額 ( ( / 当計算期間末発行済口数) × 1 )
令和2年7月期	百万円 653	百万円 0	百万円 653	円 1,281

#### (4) 分配金

	1口当たり分配金
令和2年7月期	円 0

### 2. 会計方針の変更

会計基準等の改正に伴う変更 無  
 以外の変更 無

## 財務諸表等

## (1) 【貸借対照表】

(単位：円)

		第1期 令和2年7月8日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金		707,148
コール・ローン		1,005,878
投資信託受益証券		652,217,095
前払金		1,332
流動資産合計		653,931,453
資産合計		653,931,453
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払受託者報酬		131,578
未払委託者報酬		658,062
その他未払費用		27,867
流動負債合計		817,507
負債合計		817,507
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本		510,000,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金( )		143,113,946
(分配準備積立金)		2,362,848
元本等合計		653,113,946
純資産合計		653,113,946
負債純資産合計		653,931,453

## (2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第1期 自 令和1年6月24日 至 令和2年7月8日
営業収益	
受取利息	17,984
有価証券売買等損益	154,529,197
為替差損益	9,052,403
営業収益合計	145,494,778
営業費用	
支払利息	1,237
受託者報酬	240,187
委託者報酬	1,201,191
その他費用	938,217
営業費用合計	2,380,832
営業利益又は営業損失( )	143,113,946
経常利益又は経常損失( )	143,113,946
当期純利益又は当期純損失( )	143,113,946
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額( )	-
期首剰余金又は期首欠損金( )	-
剰余金増加額又は欠損金減少額	-
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	-
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-
分配金	-
期末剰余金又は期末欠損金( )	143,113,946

## (3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第1期
	自 令和1年6月24日 至 令和2年7月8日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	第1期
	令和2年7月8日現在
1. 期首元本額	500,000,000円
期中追加設定元本額	10,000,000円
期中一部解約元本額	- 円
2. 受益権の総数	510,000口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第1期
	自 令和1年6月24日 至 令和2年7月8日
1. その他費用	その他費用の内訳は、監査費用（5,377円）、ライセンス料（11,009円）、上場審査料（540,000円）、保管費用（269,728円）、その他（112,103円）となっております。
2. 分配金の計算過程	当計算期間中に計上した受取配当金、配当株式、受取利息及びその他収益金から支払利息を控除した当期配当金等収益額（16,747円）及び分配準備積立金（0円）の合計額から、経費（2,379,595円）を控除して計算される分配対象額がないため、分配を行っておりません。

## (金融商品に関する注記)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

項目	第1期 自 令和1年6月24日 至 令和2年7月8日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。これらは、市場リスク（価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク）、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。また、当ファンドの利用しているデリバティブ取引は、為替予約取引であります。当該デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資する事を目的とし行っており、為替相場の変動によるリスクを有しております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署が、運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用担当部署へ対応の指示等を行うことにより、適切な管理を行います。リスク管理に関する委員会等はこれらの運用リスク管理状況の報告を受け、総合的な見地から運用状況全般の管理を行います。

2. 金融商品の時価等に関する事項

項目	第1期 令和2年7月8日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額は ありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第1期 令和2年7月8日現在
	当期の 損益に含まれた 評価差額(円)
投資信託受益証券	154,495,527
合計	154,495,527

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	第1期 令和2年7月8日現在
1口当たり純資産額	1,281円